

Amazon Web Services™と連携したハイブリッド・クラウド提供開始

～AWS Direct Connect でパブリックとプライベートを接続、セキュリティとコストを両立したクラウドを実現～

IT アウトソーシングを提供する株式会社スカイアーチネットワークス(本社:東京都港区南麻布、代表取締役社長:江戸 達博、以下「スカイアーチ」)はハイブリッド・クラウド*1 の提供を 2012 年 1 月 12 日(木曜)より開始しました。Amazon Web Services(以下「AWS」)の新サービス「AWS Direct Connect」を用い、AWSとスカイアーチの専用サーバーやハウジングサービスを、Equinix データセンター内の専用線でセキュアかつ高速に接続。多様なニーズに応えるクラウドサービスを構築し、24 時間 365 日の運用代行までワンストップで対応します。

■市場動向

調査会社の IDC Japan は 2012 年にハイブリッド・クラウド時代を迎えると予測しています*2。数年前よりクラウドサービスが提供され、導入事例も増える中で、ユーザ企業はパブリック・クラウド、プライベート・クラウドそれぞれのメリットやリスクを認識するようになりました。1 つのシステムの中でも使い分けが必要であり、2012 年はこれらをいかにハイブリッドで統合管理するかに焦点が集まっています。

■サービス概要



AWS と連携したハイブリッド・クラウドの構築および運用を行います。Amazon EC2 や S3 などの AWS(パブリック・クラウド)と同じデータセンター内(Equinix TY2、東京)に、お客様専用のサーバーを設置(プライベート・クラウド)。AWS Direct Connect を用いて 1 Gbps または 10 Gbps の専用線で接続し、ハイブリッド・クラウドを構築します。お客様専用のサーバーは、フルマネージドホスティング「Highway PROACTIVE」またはハウジングからお選びいただけます。また、24 時間 365 日の運用代行にも対応。ハイブリッド・クラウドの構築

から運用までワンストップでご提供します。

スカイアーチは、「あなたの側で、あなた以上に考える。」をスローガンに掲げています。今後も、お客様のビジネスを加速させるソリューションをご提案するため、サービスメニューの拡充につとめます。

*1 ハイブリッド・クラウドは、共有環境のパブリック・クラウドと専用環境のプライベート・クラウドを連携したシステムです。システムの中でサービスを使い分けて連携することで、それぞれのメリットを生かしリスクを最小化することが可能です。

例えば、パブリック・クラウドには、利用しただけ利用できる、調達期間が短い、などのメリットがある一方で、共有環境であるため機密性への不安やパフォーマンスが低下するリスクがあります。これをハイブリッド・クラウドにすることで、機密性の高いデータはプライベート・クラウド、負荷の変動が大きな処理はパブリック・クラウドなど、両サービスを連携し、コストを抑えながら多様なニーズに応じるクラウドが実現します。

*2 2011 年 12 月 15 日 IDC Japan 株式会社「2012 年 国内 IT 市場の主要 10 項目を発表」より

■株式会社スカイアーチネットワークスについて

「あなたの側(そば)で、あなた以上に考える。」をコーポレートスローガンに据え、創業から 10 年間、徹底してマネージドサービスを貫くベンチャー企業です。近年は、他社 IaaS を運用する「クラウド運用代行」、プライベート・クラウド「Route Cloud」などクラウドサービスのメニューを強化し、クラウドの普及・啓発に力を入れています。

会社名	株式会社スカイアーチネットワークス
設立	2001 年 07 月 12 日
資本金	5,000 万円
代表者	江戸 達博
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ システム運用マネージメント業務・ セキュリティマネージメント業務・ 上記に付帯する業務
URL	http://www.skyarch.net/

●リリースに関するお問い合わせ●

株式会社スカイアーチネットワークス マーケティング担当:松倉

[TEL] 03-6743-1100

[FAX] 03-6743-1101

[E-mail]info@skyarch.net

[サービスサイト] <http://www.skytown.ne.jp/>

[コーポレートサイト] <http://www.skyarch.net/>